

行政報告の主な内容（9課17項目）

(1) 総務課	集中豪雨の被害状況
	江幌地区開拓100周年
	国民保護対策
	自治会活動補助金等の統合交付金化の取組み
(2) 行政改革推進事務局	広域行政・自治のかたちの方向性
(3) 企画財政課	自衛隊・基地協議会関係要望、行事等
(4) 税務課	町税等の滞納対策
(5) 保健福祉課	住民検診関係
	障害者自立支援事業関係
	西保育所の民営化関係
(6) 町民生活課	葬斎場の改修
	スズメバチの発生状況
(7) 産業振興課	第3回花と炎の四季彩まつり
	テレビドラマ「大麦畑でつかまえて」
(8) 町立病院	病棟看護師体制の見直し
(9) 教育振興課	新英語指導助手の着任
(10) 総務課	建設工事の発注状況

行政報告

(平成18年9月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第3回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る6月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告)

はじめに、7月中旬から8月中旬にかけて発生した大雨による被害の状況であります。まず7月16日午後5時頃から午後8時にかけて局地的な集中豪雨が発生しました。特に日新地区観測点では時間雨量31.5mmを記録し、降り始めからの雨量は68.5mmに達し、日新、江花、草分、日の出地区を中心に被害が発生したところであります。

8月4日には午後2時頃から午後4時にかけて、江花地区で集中豪雨となり、時間雨量35.0mm、降り始めからの雨量は50.0mmを記録し、軽度ではありますが被害を受けました。

また、8月13日の午後6時頃から午後8時にかけては、カミナリを伴う短時間の局地的集中豪雨によって、江花地区観測点で時間雨量22.0mm、降り始めからの雨量は37.5mmを記録し、江花、草分、日の出地区で被害が発生したところであります。

さらに、8月18日夜半には、旭川地方気象台の発表による時間最大雨量44.0mmという本町区域内における観測史上第1位を記録した集中豪雨によって、新たに東中、富原地区で被害が発生いたしました。

これらの大雨による被害の内容は、町道では側溝・横断管への土砂の埋没、路肩崩壊、また河川、農業用排水路においては河床の洗掘、氾濫などです。

被害総額は、直営分を含め1,390万円となり、これらの復旧応急費用につきましては、今後の再度の大雨による被害拡大防止など緊急対応のため、7月17日付で935万円、8月14日付で240万円を予備費から充用させていただき、対応を図ったところであります。

また、農業関係では日新、草分、江花、旭野地区で一部の圃場に土砂が流入し、豆类・スイートコーン等を中心に、被害面積で約1.1ha、被害金額で約100万円となったところであります。被害を受けられた農業者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

次に、江幌地区の開拓100周年についてであります。江幌地区に開拓の鍬が下ろされて100年を迎えることから、地区住民の皆様の手によって記念碑が建立されました。9月3日にその除幕式とあわせて記念式典に出席し、地区の皆様とともに、先人の労苦への感謝とあわせて、今後の地区の繁栄をご祈念申し上げたところであります。

次に、国民保衛対策についてであります。7月24日に上富良野町国民保衛計画策定について諮問するために、上富良野町国民保衛協議会を開催し、計画素案を提示したところであります。北海道との計画策定協議を併行しながら、本年11月上旬の答申を予定して事務が進められているところであります。

次に、自治会活動関係補助金等の統合交付金化に向けた取組みについてですが、それぞれの地域における自主的な自治活動の推進を図ることを目的に、本年1月、4月の住民会長懇談会をはじめ、8月22日には住民会長説明会を開催し、住民会長の皆様との協議で、概ね了承をいただいたところであります。近日中には、町内会長の皆様に説明する機会を設けるとともに、次年度からの実施に向け、取組みを進めてまい

ります。

（行政改革推進事務局行政報告）

次に、広域行政・自治のかたちについてですが、6月議会で報告以降、これまでの間の動きにつきましては、町広報あるいは議員協議会を通じて情報提供させていただきましたが、8月28日開催の広域圏振興協議会委員会で、方向性について議論した結果「広域連合」を目指すことを、全体で確認しあったところであります。

今後については、5市町村で確認した方向性の実現に向けた具体的な取り組み内容について、時期を見ながら町民の皆様へお知らせしてまいりたいと考えています。

（企画財政課行政報告）

次に自衛隊関係であります。6月25日から8月27日まで、千歳第1特科団、北海道補給処、航空自衛隊千歳基地、旭川地方連絡部のそれぞれで開催された創立記念式典に出席をいたしました。

また、7月12日、13日には北海道基地協議会要望運動と、平成18年度全国基地協議会、防衛施設周辺整備協会の総会への出席と合わせて、防衛庁、防衛施設庁、総務省、財務省に対しまして防衛施設周辺整備事業に関する要望を行ってまいりました。

また、8月26日から27日に東富士演習場で行われた富士総合火力演習を多くの招待者と共に見学してまいりました。

さらに、8月29日から31日まで、北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の要望運動として、北部方面総監部、防衛庁、財務省に対し、「防衛大綱」「中期防衛計画」の見直しによる部隊の統廃合など、地域における重要課題である北海道の防衛体制の確保に関する要望を、協議会役員とともに行ってまいりました。

（税務課行政報告）

次に、大きな行政課題となっております町税等の滞納解消についてですが、本年度8月末までにおいて、給料支払調査26件、預金調査16件、町外者実態調査82件を実施し、給料、所得税還付金、不動産など、24件の差押えを執行いたしました。

また、管理職全員による滞納プロジェクト、税務課職員全員による滞納プロジェクトを各1回実施し、延べ120名への臨戸訪問により町税218万7,000円を徴収いたしました。

さらに、国民健康保険税の不誠実な滞納者14名に対して、国保保険証に替わり資格証明書の交付をしたところであります。

また、日中納税ができない町民のために、夜間・休日納税相談窓口を2回設置して収納サービスの向上に努めるとともに、併せて滞納者341名の呼出し催告を行い納税指導とあわせて、収納対策に努めたところであります。

なお、納税促進、滞納防止を大きな目的として、これまで検討協議を進めてまいりました「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」を、今定例町議会に上程しておりますので、よろしくご審議賜りたいと存じます。

（保健福祉課行政報告）

次に、住民検診関係についてですが、町の優先する健康課題である高血圧・糖尿病等から引き起こされる心疾患・脳血管疾患等の生活習慣病予防の取り組みについては、6月末から循環器健診を実施し、今後も10月に未健者健診を予定しております。

現在までの状況は、2,714名が受診され、生活習慣病予防啓発に努めております。

今年度は、特に若年者に積極的な働きかけを行ったことにより、39歳以下の受診が、214名と昨年に比して137名増加しており、今後とも若い時期から血管を守るための生活習慣改善推進の取り組みを強化し、成果をあげてまいります。

次に、障害者自立支援事業についてですが、障害者自立支援法の施行に伴い、本町としての各支援事業の実施基盤となる関係条例について、今定例会に上程いたしましたので、よろしくご審議賜わりたいと存じます。

また、本年10月から市町村が実施する地域生活支援事業については、各自治体単独での実施を基本としながらも、富良野圏域で統一して委託実施することが効率的な事業については、圏域でその協議が整いましたので、今定例会に関連予算の計上をお願いしたところであります。

今後は、事業の実施過程の中で検証を重ねつつ、真に障害をもたれる方々や介護者の方々に対処し得る事業となるよう、必要な改善に努めてまいりたいと考えております。

次に、西保育所についてですが、町立西保育所は、昭和50年に開設し、平成16年度からは、学校法人専誠寺学園が指定管理者として、管理運営を代行し、現在に至っております。

西保育所の民営化については、行財政改革実施計画に基づき位置づけし、これまで保護者への説明と、協議を進めてまいりました。また、民間への委譲先としては、現指定管理者である専誠寺学園が、保護者からも高い評価を得ていることや、入所児と保育士との信頼関係の継続などを考慮し、同学園を対象とし協議を進めてきた結果、諸条件が整いましたので、今定例会に関係議案を上程させていただいたところであります。

(町民生活課)

次に、住民の皆様にご不便をおかけしておりました、葬斎場の修理につきましては、火葬炉排気塔耐火物積み替え及び2号炉の耐火物積み替え工事を8月3日に終え、翌4日より、通常通りご使用いただいておりますので、今後も適切な維持管理に努めて

まいります。

次に、スズメバチの発生状況についてですが、例年になく高温傾向で推移したためか、巢の発見が多く見られております。重大な事故につながる恐れがありますので、防災無線を通じて、発見の際は速やかに役場に連絡いただくよう周知したところであります。

(産業振興課行政報告)

次に観光関係では、『第3回花と炎の四季彩まつり』を7月15日と16日の二日間にわたり開催いたしました。

あいにく16日の夕方から雨となりましたが、行灯行列、花火等の行事を予定通り実施することができ、期間中、町内外より約1万7千人の来園者をお迎えし無事終了することが出来ました。

四季彩まつりの開催に向けて、早くから行灯の製作をはじめ、イベントの準備整理などにご苦労いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げますと共に、次年度の開催に向けて、関係者の皆様のより一層の連携をお願いし、地域振興につながる『イベント』となるよう努めてまいります。

次に、既に9月2日放送されたHTB北海道テレビ製作による地元を舞台にしたテレビドラマ『大麦畑でつかまえて』の関係ですが、7月17日から10間にわたる本町での撮影にあたっては、ロケ現場として施設の提供をいただいた方々をはじめ、関係団体や、多くの町民の方々にご支援ご協力をいただきながら無事終わることが出来たところであり、大変よろこんでいる次第です。改めて関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

（町立病院行政報告）

次に、町立病院の病棟看護師体制についてですが、本年3月に改正された診療報酬は、複数夜勤体制でなければ、入院基本料が大幅に引き下げられるなど、当病院としては、大変厳しい内容であります。複数夜勤体制の構築に向け、努めてきたところであり、その見通しが立ったことから、6月より試行を行い、以来2ヶ月間の試行実績を踏まえて、8月23日には、正式に北海道社会保険事務局に対して、施設基準の申請を行い受理されたところであります。

今後とも、効率的かつ安定的な勤務体制となるよう取り進めてまいります。

（教育振興課行政報告）

次に、新しい英語指導助手の着任についてですが、平成16年8月から本町の英語指導助手として英語教育の振興に貢献されたマイケル・スティーブスの後任として、同じくカナダ国アルバータ州カムローズ市からダナ・ビゲロウを迎え、8月1日から、正式に活躍いただいております。

彼女は、いろいろなスポーツに親しむなど活発な方で、熱意をもって上富良野町の子ども達に国際理解と英語指導に当たっていただくとともに、上富良野の文化や自然を学びたいという意欲が旺盛なことから、今後の活躍を期待しているところであります。

（総務課行政報告）

最後に建設工事の発注状況であります。6月定例議会の報告以降に入札執行した建設工事は、9月7日現在で、今定例会に上程の1件分を含め、件数で16件、事業費総額で2億8,267万500円となっております。

本年度累計では、36件、事業費総額4億9,730万1,000円となっております。

なお、お手元に「平成18年度建設工事発注状況」を配布しておりますので、後ほ

どご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。